

他都市の計画における基本理念及び基本方針等

	人口 (H22国調)	名称(愛称等)	現計画策定年度	計画期間	基本理念等	数値目標(指標, 程度)	基本方針等重点テーマ
新潟市	812,192	新・新潟市ごみ減量プログラム	平成19年度	～平成26年度 (8年間)	市民・事業者・市の協働のもと、とものつくる環境先進都市	【家庭系ごみ量】570g/人・日 【リサイクル率】26% 【最終処分量】32,000t	【方針1】ごみを減らす仕組みづくりの推進 【方針2】家庭系ごみの分別拡充と有料化の推進 【方針3】事業系ごみの排出抑制と資源化の推進 【方針4】違反ごみ対策と不法投棄対策の拡充 【方針5】収集・処理体制の整備
札幌市	1,914,434	スリムシティさっぽろ計画	平成20年度	～平成29年度 (10年間)	環境低負荷型資源循環社会(都市)の実現	【家庭系ごみ量】400g/人・日以下 【ごみ総量】30%以上削減(H16年度比) 【リサイクル率】30%以上 【焼却量】24万t以上削減(H16年度比) 【埋立処分量】30%以上削減(H16年度比)	<施策の柱1:発生・排出抑制の促進> 【施策1】発生・排出抑制のしくみづくり 【施策2】市民による自主的な資源化の促進 【施策3】事業者による自主的な資源化の促進 <施策の柱2:収集・処理体制の確立> 【施策4】資源循環型ごみ収集・処理体制の確立 【施策5】環境低負荷型ごみ収集・処理体制の確立
川崎市	1,425,678	かわさきチャレンジ・3R	平成17年度 (平成21年度改定)	～平成27年度 (10年間)	「地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指して」	【1人1日当たりの家庭ごみ排出量(目標)】 1,178g[H19]→1,128g[H27] 【ごみ焼却量(目標)】 45万t[H19]→37万t[H27] 【廃棄物分野から排出される温室効果ガス排出量(指標)】 16.7万t[H19]→10.9万t[H25]	・限りなくごみをつくらない社会を創ること ・市民の健康的で快適な生活環境を守ること ・市民・事業者・行政が信頼し協力し合える関係を築くこと
横浜市	3,689,603	ヨコハマ3R夢(スリム)プラン	平成22年度	～平成37年度 (15年間)	市民・事業者・行政の協働のもと、限りある資源・エネルギーの有効活用と確保に努め、環境モデル都市として、環境負荷の低減と健全な財政運営が両立した持続可能なまちを目指す。	【ごみ処理に伴うCO ₂ 排出量】 H21年度比で50%以上削減 【総排出量】 H21年度比で10%以上削減	・三者が取り組む3R行動 ・安全で安定した処理・処分 ・よりよい生活環境の確保 ・市民の視点に立ったサービスの向上 ・コスト意識と適正負担
相模原市	717,561	循環型社会形成さがみはらプラン21	平成20年度	～平成30年度 (10年間)	とものつくる循環型都市 さがみはら	【1人1日当たりの家庭ごみ排出量】 631g[H18]→500g[H30] 【ごみ総排出量】 27.2万t[H18]→25.0万t[H30] 【リサイクル率】 18.1%[H18]→25%以上[H30]	【方針1】4R(3R+Refuse(発生抑制))の推進と循環型スタイルの確立 【方針2】資源を循環させる社会システムの構築 【方針3】市民・事業者・行政の協働によるごみを出さない環境づくり
静岡市	716,328	静岡市一般廃棄物処理基本計画 ～環境共生都市しずおかの実現～	平成22年度	～平成31年度	環境共生都市しずおかの実現	【1人1日あたりのごみ総排出量※】 1,156g[H20]→1,000g[H31] (※家庭ごみ+集団回収+事業系ごみ)	【方針1】発生抑制、排出抑制・再使用・再生利用の4Rの推進 【方針2】安全・安心で環境低負荷型のごみ処理事業の確立 【方針3】効率的・効果的なごみ処理事業の確立 【方針4】最終処分量の極小化
名古屋市	2,263,907	名古屋市第4次一般廃棄物処理基本計画 ～「環境首都なごや」への挑戦～	平成20年度	～平成32年度 (13年間)	ごみも資源も、減らす生かす	【総排出量】 108万t[H18]→104万t[H32] 【資源分別量】 38万t[H18]→50万t[H32] 【ごみ処理量】 70万t[H18]→54万t[H32] 【埋立量】 10万t[H18]→2万t[H32]	・率直でオープンなごみ行政 ・発生抑制 ・分別徹底 ・品目別の取り組み ・素材特性に応じた循環処理
京都市	1,474,473	みんなで目指そう!ごみ半減! 循環のまち・京都プラン (京都市循環型社会推進基本計画) ※一般廃棄物処理基本計画を兼ねる	平成21年度	～平成32年度 (12年間)	市民力・地域力が築く世界をリードする環境モデル都市・京都 「京(きょう)からみんなで環境にええことしましょ!」	【市受入量】57万t[H20]→39万t[H32] 【再生利用率】18%[H20]→31%[H32] 【市処理処分量(焼却+直接埋立)】 55万t[H20]→36万t[H32] 【市最終処分量】9.2万t[H20]→2.8万t[H32] 【資源生産性※】さらなる向上 (※市内総生産(円)÷天然資源等投入量(t)) 【温室効果ガス排出量】 16万t[H20]→13万t[H32] 【温室効果ガス削減量(ごみ発電によるエネルギー回収分)】 2.2万t[H20]→2.5万t[H32]	【方針1】そもそもごみを出さない 【方針2】ごみは資源、可能な限りリサイクル 【方針3】ごみは安全に処理して最大限活用
神戸市	1,544,873	神戸市一般廃棄物処理基本計画 ～「もったいない!」で築く循環型都市“こうべ”～	平成22年度	～平成32年度 (10年間)	「もったいない!」で築く循環型都市“こうべ”	【ごみ発生量】757千t[H20]→652千t[H32] 【資源化量】149千t[H20]→231千t[H32] 【資源化率】20%[H20]→35%[H32] 【ごみ処理量】608千t[H20]→421千t[H32] 【1人1日あたりごみ処理量】 1,090g[H20]→770g[H32] 【最終処分量】121千t[H20]→56千t[H32]	【方針1】「低炭素社会」、「自然共生社会」にも資する「循環型社会」の実現 【方針2】発生抑制・再使用の上流対策に重点をおいた施策の総合的展開 【方針3】神戸の特色を活かした「協働と参画」の取り組み推進